

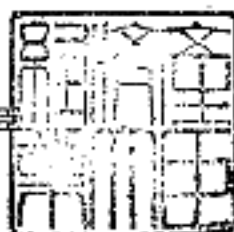
# 経済産業省

平成14・04・03原第27号

平成15年6月25日

原子力委員会委員長 殿

経済産業大臣



四国電力株式会社伊方発電所の原子炉の設置変更（1号、2号及び3号原子炉施設の変更）について（一部補正）

平成15年1月17日付け平成14・04・03原第27号をもって諮問した件について、平成15年6月23日付け原子力発第03063号をもって四国電力株式会社取締役社長 大西淳から別添のとおり原子炉設置変更許可申請書の添付書類の一部補正があったので通知する。



伊方発電所

原子炉設置変更許可申請書

(1号, 2号及び3号原子炉施設の変更)

添付書類の一部補正

平成15年6月

四国電力株式会社

原子力発 第03063号

平成15年 6月23日

経済産業大臣

平沼赳夫 殿

住 所 高松市丸の内2番5号  
申請者名 四国電力株式会社  
代表者氏名 取締役社長 大西 淳



平成14年4月3日付け、原安発第750号をもって申請し、平成14年12月26日付け、原子力発第02114号をもって一部補正しました伊方発電所の原子炉設置変更許可申請書（1号、2号及び3号原子炉施設の変更）の添付書類を下記のとおり一部補正いたします。

#### 記

伊方発電所の原子炉設置変更許可申請書（1号、2号及び3号原子炉施設の変更）の添付書類を別添のとおり補正する。

平成 15・06・23 係 173

原子力発 第 03063 号

平成 15 年 6 月 23 日

経 済 産 業 大 臣

平 沼 赳 夫 殿

住 所 高松市丸の内 2 番 5 号

申 請 者 名 四 国 電 力 株 式 会 社

代表者氏名 取締役社長 大 西 淳

平成 14 年 4 月 3 日付け、原安発第 750 号をもって申請し、平成 14 年 12 月 26 日付け、原子力発第 02114 号をもって一部補正しました伊方発電所の原子炉設置変更許可申請書（1 号、2 号及び 3 号原子炉施設の変更）の添付書類を下記のとおり一部補正いたします。

## 記

伊方発電所の原子炉設置変更許可申請書（1 号、2 号及び 3 号原子炉施設の変更）の添付書類を別添のとおり補正する。

# 別 添

添付書類八の一部補正

添付書類十の一部補正

# 添付書類八の一部補正

添付書類八を以下のとおり補正する。

頁	行	補正前	補正後
8(1)-3-8	上10～ 上13	<u>二酸化ウラン焼結ペレット</u> は約97%又は約95%理論密度、ガドリニア入り二酸化ウラン焼結ペレットは約96%又は約95%理論密度になるように焼結するとともに、照射中の焼きしまりを小さくするよう <u>な製造方法</u> を採用する。・・	<u>ペレットの焼結に当たっては、二酸化ウラン焼結ペレット</u> は約97%又は約95%理論密度、ガドリニア入り二酸化ウラン焼結ペレットは約96%又は約95%理論密度にするとともに、照射中の焼きしまりを小さくするよう <u>な方法</u> を採用する。・・
8(2)-3-8	上11～ 上14	<u>二酸化ウラン焼結ペレット</u> は約97%又は約95%理論密度、ガドリニア入り二酸化ウラン焼結ペレットは約96%又は約95%理論密度になるように焼結するとともに、照射中の焼きしまりを小さくするよう <u>な製造方法</u> を採用する。・・	<u>ペレットの焼結に当たっては、二酸化ウラン焼結ペレット</u> は約97%又は約95%理論密度、ガドリニア入り二酸化ウラン焼結ペレットは約96%又は約95%理論密度にするとともに、照射中の焼きしまりを小さくするよう <u>な方法</u> を採用する。・・

頁は平成14年4月3日付け、原安発第750号の頁を示す。

頁	行	補正前	補正後
8(3)-3-8	上13～ 上16	<u>二酸化ウラン焼結ペレットは約97%又は約95%理論密度，ガドリニア入り二酸化ウラン焼結ペレットは約96%又は約95%理論密度になるように焼結するとともに，照射中の焼きしまりを小さくするような製造方法</u> を採用する。・・	<u>ペレットの焼結に当たっては，二酸化ウラン焼結ペレットは約97%又は約95%理論密度，ガドリニア入り二酸化ウラン焼結ペレットは約96%又は約95%理論密度にするとともに，照射中の焼きしまりを小さくするような方法</u> を採用する。・・
8(3)-3-25	上3～上4  上5	・・約15ppm/minであり・・  ・・ <u>0.9</u> ×10 <sup>-3</sup> (Δk/k)/min以上の・・	・・約16ppm/minであり・・  ・・ <u>1.0</u> ×10 <sup>-3</sup> (Δk/k)/min以上の・・

頁は平成14年4月3日付け，原安発第750号の頁を示す。



# 添付書類十のー部補正

添付書類十を以下のとおり補正する。

頁	行	補正前	補正後
10(1)-1-23 *10-6	下5～下3 上2～上3	・・事象については核設計 計算コードANC <sup>(16)</sup> を 使用して、 <u>解析の入力値</u> を得る。ANCは、 <u>燃焼</u> <u>度の関数としての2群群</u> <u>定数等を入力として3次</u> <u>元</u> ・・	・・事象については、 <u>核設</u> <u>計計算コードANC<sup>(16)</sup></u> を使用して、 <u>燃焼度の関</u> <u>数としての2群群定数等</u> <u>を入力とし、3次元</u> ・・
10(1)-2-6	上7	なお、 <u>浸水燃料の</u> ・・	なお、 <u>ピーク出力部燃</u> <u>料エンタルピーの最大値</u> <u>は、約144kJ/kg・UO<sub>2</sub> (</u> <u>約34cal/g・UO<sub>2</sub>) であ</u> <u>り、浸水燃料の</u> ・・
*10-13	下8～下6	・・MARVELにより <u>燃</u> <u>料棒表面の</u> ・・	・・MARVELにより <u>原</u> <u>子炉出力の過渡応答を求</u> <u>める。これらのデータを</u> <u>使って、燃料棒過渡解析</u> <u>コードFACTRANに</u> <u>より燃料棒表面の</u> ・・
*10-14	上4～上5	・・加えて、 <u>炉心における</u> <u>急峻な</u> ・・	・・加えて、 <u>THINC-</u> <u>Ⅲにより炉心における急</u> <u>峻な</u> ・・

頁は平成14年4月3日付け、原安発第750号の頁を示す。

なお、\*を付した頁は、平成14年12月26日付け、原子力発第021  
14号で一部補正の頁を示す。

頁	行	補正前	補正後
10(1)-4-21	下11	・・物質 i の線 <u>吸収</u> 係数	・・物質 i の線 <u>減衰</u> 係数
	下9	・・物質 l の線 <u>吸収</u> 係数	・・物質 l の線 <u>減衰</u> 係数
10(1)-4-22	下3	・・物質の <u>全吸収</u> 係数・・	・・物質の <u>線減衰</u> 係数・・
10(2)-4-21	下11	・・物質 i の線 <u>吸収</u> 係数	・・物質 i の線 <u>減衰</u> 係数
	下9	・・物質 l の線 <u>吸収</u> 係数	・・物質 l の線 <u>減衰</u> 係数
10(2)-4-22	下3	・・物質の <u>全吸収</u> 係数・・	・・物質の <u>線減衰</u> 係数・・
10(3)-1-22 *10-25	下5～下3 下2～下1	・・事象については <u>核設計</u> 計算コードANC <sup>(15)</sup> を 使用して、 <u>解析の入力値</u> を得る。ANCは、 <u>燃焼</u> 度の関数としての2群群 定数等を入力として3次 元・・	・・事象については、 <u>核設</u> 計計算コードANC <sup>(15)</sup> を使用して、 <u>燃焼度</u> の関 数としての2群群定数等 を入力とし、 <u>3次元</u> ・・
10(3)-2-6	上7	なお、 <u>浸水燃料</u> の・・	なお、 <u>ピーク出力部燃</u> <u>料エンタルピーの最大値</u> は、 <u>約158kJ/kg・UO<sub>2</sub></u> ( <u>約38cal/g・UO<sub>2</sub></u> ) であ <u>り、浸水燃料</u> の・・

頁は平成14年4月3日付け、原安発第750号の頁を示す。

なお、\*を付した頁は、平成14年12月26日付け、原子力発第02114号で一部補正の頁を示す。

頁	行	補正前	補正後
*10-32	上9～ 上11	・・MARVELにより燃料棒表面の・・	・・MARVELにより原子炉出力の過渡応答を求める。これらのデータを使って、燃料棒過渡解析コードFACTRANにより燃料棒表面の・・
	下10～ 下9	・・加えて、炉心における急峻な・・	・・加えて、THINC-Ⅲにより炉心における急峻な・・
10(3)-4-21	下11	・・物質 i の線吸収係数	・・物質 i の線減衰係数
	下9	・・物質 2 の線吸収係数	・・物質 2 の線減衰係数
10(3)-4-22	下3	・・物質の全吸収係数・・	・・物質の線減衰係数・・

頁は平成14年4月3日付け、原安発第750号の頁を示す。

なお、\*を付した頁は、平成14年12月26日付け、原子力発第02114号で一部補正の頁を示す。